

<東京都> ※下線は前回資料からの更新部分

- 確保病床 8/23 **6,406床**（うち重症者用**392床**）
- 宿泊療養 8/23 **3,230室**
 - ・ 入院待機患者の一時的な受入先として、医療機能を強化した宿泊療養施設を設置（20床）
- 8/23、厚生労働省と東京都において、都内全医療機関及び医師、看護師等養成機関に対し、感染症法第16条の2に基づき、患者受入や医療従事者の派遣等の協力を要請。
- 中和抗体薬の投与を行う施設を整備（※）（120施設）
 - ※ 医療機関の参入を促すとともに、宿泊療養施設の一部を臨時の医療施設として活用
- 酸素ステーションを整備
 - ・ 8/23、自宅療養中の軽症の患者を一時的に受け入れる施設を臨時の医療施設として**130床整備**
 - ・ 8/21、休床病床を活用し、自宅療養中の主に中等症患者向けの酸素投与を行う病床を**80床整備**
 - ・ 8/12、緊急搬送困難時に救急隊からの要請に対応する病床を**36床整備**
- 自宅療養者の健康観察強化のため、都内全域で、都医師会・地区医師会・訪問看護事業者等と連携して、往診・訪問診療、オンライン・電話診療、訪問看護等の医療体制を整備中
- 宿泊・自宅療養者の健康観察強化のための、パルスオキシメーター・酸素濃縮器の更なる確保（現在パルスオキシメーター約7万台 → さらに**約2万台**、酸素濃縮器約500台 → さらに**約150台上積み**）

<神奈川県>

- 確保病床 7/14 1,790床（うち重症者用199床） → 8/18 **1,924床**（うち重症者用**241床**）
 - ・ 8/23時点の即応病床 **2,050床**（うち重症者用**286床**）
 - ※ 新型コロナウイルス感染症患者の外来・入院機能の強化及び救急医療体制の堅持を図るため、医師が延期できると判断した入院や手術を3ヶ月程度一時停止するよう要請
- 宿泊療養 7/14 1,657室 → 8/18 **1,906室**
 - ・ 8月中を目途に、さらに**626室**の確保に向けて調整中
- 緊急酸素投与ステーション（HOTセンター）を横浜市に設置（**24床**）
- 自宅療養者・宿泊療養者全員にパルスオキシメーターの配送、医師会に委託し自宅療養者を地域の医師や看護師らが見守る「地域療養の神奈川県モデル」を実施

<愛知県>

- 確保病床 7/14 1,515床（うち重症者用146床） → 8/23 **1,570床**（うち重症者用**170床**）
- 宿泊療養 7/14 1,109室 → 8/27 **1,514室**予定
 - ・ 更に増やすことを検討中
- 自宅療養者に対しては、医療機関や訪問看護ステーションと連携した往診・オンライン診療等による医療提供体制を整備（8/23 医療機関数388、訪問看護ステーション数86）
- パルスオキシメーターを**5,000個追加**し、合計で約16,500個確保する予定

<大阪府>

- 確保病床 7/14 2,847床（うち重症者用922床）→8/23 **3,155床**（うち重症者用**1,226床**※府基準588床）
 - ・ 軽症中等症病床の3,000床（府基準・8/23時点で2,567床）確保に向け、感染症法16条の2に基づき病院に要請
- 宿泊療養 7/14 1,878室 → 8/20 5,270室 → 8/25 **5,999室**確保予定
- 中和抗体薬の投与による早期治療を実施・軽快後に宿泊療養施設での療養に切り替える「短期入院型医療機関」を整備（8月20日から**各医療圏ごと1か所**整備）
- 宿泊療養施設の一部を臨時的医療施設として中和抗体薬の投与を行う「医療型宿泊療養施設」の整備（8月下旬）
- オンライン診療及び薬剤処方の実施（約500医療機関、約1,700薬局）や夜間休日における相談・往診体制に加え、看護師が自宅療養者を訪問し健康観察する取組を実施。（8/17 158訪問看護ステーションが実施）
- 救急搬送時に患者を一時的に待機させ、酸素投与等を行う「入院患者待機ステーション」を再開（8/20、**3か所14床**→9月上旬までに**6か所27床**（うち1か所8床は状況により稼働）体制での運用を予定）
- 自宅療養者が、地域で外来診療を受けられるよう「外来診療病院」の整備（8/20～：約40病院設置）

<福岡県>

- 確保病床 7/14 1,413床（うち重症者用201床） → 8/23 **1,455床**（うち重症者用**202床**）
 - ・ 緊急時を見据えた**1,480床**の確保に向け、個別の医療機関に協力を要請中
- 宿泊療養 8/23 **2,106室**
 - ・ 5月に3ホテル504室を追加（1,387室→1,891室）、6/4福岡市1ホテル215室を追加（1,891室→2,106室）
- 8/16、宿泊療養施設1施設は臨時の医療施設として、中和抗体薬の投与を開始。
- 酸素投与ステーションを設置（8月下旬～）
- 8/11、福岡市医師会が自宅療養者向けのオンライン診療の仕組みを開始。療養者の申し出や保健所の連絡を受け登録された医療機関が電話やインターネットで診察を行う。
- 8/13、自宅療養者向けの電話相談窓口を設置。休日や夜間に看護師等が対応し、受診できる医療機関を案内。

<沖縄県>

- 病床（即応） 7/14 519床（うち重症者用65床） → 8/23 **865床**（うち重症者用**136床**）
- 宿泊療養 7/14 563室 →8/23 **702室**
- 6/12、コロナ入院待機ステーション（20床）を開設。6/23から新規受入を停止していたが、8/1より受入再開。8/14から**10床追加**。**1か所追加検討中**。
- 県において、保健所管轄地域も含め「自宅療養健康管理センター」を設置し、看護師等による健康観察や相談、パルスオキシメーター、配食支援を実施

■入院待機施設（入院待機ステーション・酸素ステーション）の設置状況

- 北海道 1か所稼働中。9月中旬に1か所を再開予定。
- 茨城県 1か所稼働中。感染状況に応じてさらに1か所追加を検討中。
- 埼玉県 複数か所の設置を検討中。9月初旬に1か所の開設に向けて準備中。
- 東京都 病院敷地内に酸素投与等を行う入院待機ステーション（2か所稼働中）の拡充、大規模施設を活用した酸素ステーションの設置
- 神奈川県 1か所稼働中
- 岐阜県 1か所設置予定
- 滋賀県 1か所設置予定
- 京都府 1か所稼働中
- 大阪府 3か所稼働中。9月上旬までに6か所での運用を予定。
- 岡山県 1か所稼働中
- 広島県 1か所稼働中
- 福岡県 1か所設置予定
- 沖縄県 1か所稼働中。さらに1か所追加を検討中。